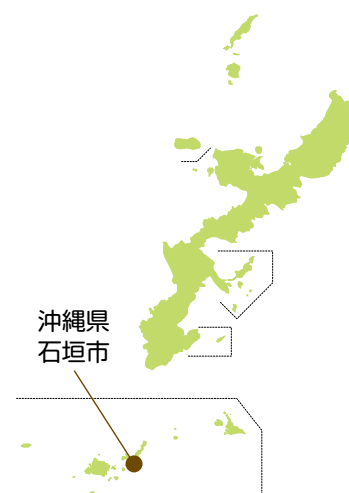


有限会社伊盛牧場

※2018年3月現在

代表者名	伊盛 米俊	資本金	3百万円
設立年	1993年2月3日	売上高	185百万円(2016年12月期)
事業内容	生産(生乳、子牛)、消費者直売、加工・製造、飲食	経営規模	採草放牧地9.7ha、加工施設400㎡(ジェラート製造)、直売所150㎡(約400種類)、畜舎1,900㎡、経産牛60頭
従事者数	31人(うち女性19人。女性内訳:役員1人、管理職3人、一般職6人、常勤パート9人)		
女性活躍支援	<p>[女性に配慮した取組み、実績のある制度・支援]</p> <p>産前産後休業、育児休業、介護休業、看護休暇、短時間勤務制度等の措置、時間外労働及び深夜業の制限、母性健康管理のための措置、育児休業代替要員を確保</p> <p>[女性に配慮して取組んだ環境整備]</p> <p>施設設備関係(休憩室・屋内・野外トイレ)、重労働等の業務改善</p>		



経営概況

有限会社伊盛牧場は、年間を通して気温の高い沖縄県の石垣島で酪農経営を行う農業法人である。日本最南端に位置する亜熱帯気候の八重山地域は、酪農経営にとって過酷な環境である。だが陽射しや通風に配慮した設計にした上で、扇風機やミスト装置を設置するなど、牛が快適に過ごせるように工夫を凝らした牛舎を、3年の歳月をかけて2005年に整備し、飼養環境の改善を図った。さらに、従来は北海道から導入していた後継

牛についても、自家育成による暑熱に強い牛群改良を進めた結果、平均乳量は1頭あたり2,000kg以上も増加した。

また、温暖な気候を活かして粗飼料の全量自家生産による飼料費低減を図っている他、2010年には加工販売所「ミルミル本舗」を開店して6次産業化にも取り組んでおり、第55回農林水産祭天皇杯など数多くの賞を受賞し、石垣島型酪農経営の成功事例として全国的にも評価が高い。

ミルミル本舗では、黒糖、紅イモ、果実などの規格外で出荷ができない特産品を利用したジェラートやジャム、乳牛を利用したハンバーグなどの牛肉加工品を取扱い、地産地消にこだわった経営を展開している。2013年に石垣空港内で構えた新店舗での集客効果もあり、加工品売上は5年で5倍以上増加し、売上185百万円(2016年12月期)の約7割を占めるまで成長。2017年には新加工販売所の整備を行うなど、今後もさらなる事業拡大が期待される。



1. 経営者の理念・意識改革

同社では、残業や賞与手当の支給の他、各種社会保険加入、短時間型の勤務シフトを選択できるなどの育児・介護休業制度も充実させ、家庭と仕事の両立が可能な環境を整備し、地域社会と結びつけた経営を展開している。キャリア形成に関しても、加工、販売、広報、営業の分野での社内勉強会などの能力育成支援も実施し、意欲の高い人を正社員に昇格させている（実績5名）。

また、代表の伊盛氏はミルミル本舗の開設を機に、女性ならではの細やかな感性や経験を活かすため、女性に向けた業務にはその能力を活かしてもらえよう、女性活躍を推進している。特に、家事や育児、介護や地域の行事への参加などが忙しい女性同士が助け合いながら、柔軟に休みが取得できる職場環境づくりに励み、女性のワークライフバランスに配慮した働きやすい環境や制度などをさらに充実させ、意欲ある女性が一步踏み出せるような職場を目指している。

その他、酪農は朝が早いというイメージを払拭するために、搾乳作業の開始を朝9時からとすることで労働環境改善にも努め、作業効率を上げるために女性一人でも搾乳作業が行えるパイプラインミルクカーを導入している。

2. 女性ならではの視点での取り組み・成果

作業体制の効率化や商品開発のアイデアなどについて、女性従業員の意見や提案を実行させるため、構成メンバー6名中4名を女性とした経営戦略会議を毎月1回程度設けている。消費者目線での商品開発や店づくりは重要な戦力として位置付けている女性従業員が中心に行っており、増収が続く2店舗（本店、石垣空港店）の店長はともに女性が務めている。

女性のアイデアにより経営上の成果につながったことがいくつもある。淘汰牛を利用した自家製ホルスタイン牛肉100%のハンバーガーの商品化、特産品を利用したジェラートメニューの開発、暑さに強い牛群の生乳に含まれる濃厚な乳脂肪分を利用したミルクジャムの商品化、柔軟な勤務形態や時間短縮の採用、休憩所やトイレの設置で快適な職場環境等により、近年人材不足の石垣島において、地元のみならず県外からの移住者（従業員全体の3分の1を占める）の雇用確保ができたことで、売上は8割、利益は9割の増加につながったという。

3. 今後の取り組み

快適な職場環境を整備したことは、女性従業員のモチベーションが向上して仕事に対する責任感が芽生えるとともに、男性従業員のモチベーション向上にもつながるなど好影響を及ぼしている。

女性従業員における県外出身者は9名。県外からの移住者の定住促進となるべく、雇用創出の場として地域社会に貢献するとともに、今後も地域活性化の一翼を担っていきたいと考えている。

審査委員の声

伊盛米俊代表には、厳しい亜熱帯での酪農経営への強い思いがある。紅イモなどの規格外の特産品を利用したジェラートなどを加工・販売する「ミルミル本舗」の開設により業績は拡大。石垣島周辺の離島を眺められる素晴らしい景観の中に立つこの新加工施設が女性社員に快適な職場環境を提供、そこで開発されたジェラートが人気となっている。さらに女性一人でも使える搾乳用パイプラインミルクカーを整備するなど、女性の働きやすさに配慮している。